

新潟市地域包括ケア計画(第8期介護保険事業計画)における認知症施策の実施状況

認知症施策の推進

①正しい知識と理解の普及

取組方針	事業名	事業概要	指標および実施状況				実施状況(R6.2月末)	今後の主な取組(R6年度)		
			指標	単位	R3	R4			R5	
<p>○認知症は誰もがなりうることを、様々な機会をとらえ普及啓発し、地域全体が認知症への理解を深めていくため、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者となる「認知症サポーター」の養成を引き続き推進します。</p> <p>○認知症に対する正しい知識と理解が深まるよう、地域で暮らす認知症本人からの思いを発信するなど、認知症本人の参画する普及啓発の取組みを検討していきます。</p>	1	認知症サポーターの養成	地域住民、企業、学校などを対象に「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症の人や家族の応援者である「認知症サポーター」を養成する。	指標	人/年	7,000	7,000	7,000	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成数累計見込み86,832人(H20～) ・新型コロナ期間中に開催控えが続いた小中学校、企業からの開催依頼が少ない。 ・月1回定例開催の小規模常設会場は1か所増え、計6か所で開催 	<p>○学校や企業における認知症サポーターの養成を進め、引き続き認知症サポーター養成者数の増加を図る。</p> <p>○認知症ステップアップ講座の講師となるキャラバン・メイトを育成し認知症により理解あるサポーター養成を進める。</p> <p>○R6年度版認知症安心ガイドブックの配布</p>
	2	キャラバン・メイトの養成	認知症サポーター養成講座の講師役となる「キャラバン・メイト」を養成する。	/			<ul style="list-style-type: none"> ・R5.7.24キャラバン・メイト養成研修開催 養成者51人(累計994人) ・R5.11.7キャラバン・メイトフォローアップ研修開催 受講者29人 ・R5.8.30メイト連絡会情報交換会の開催 			
	3	市民向け講演会や出前講座の開催	認知症に関する正しい知識の普及を図ることを目的として市民向け講演会や出前講座を開催する。	/			<ul style="list-style-type: none"> ・各地域包括支援センター主催の講演会、地域からの依頼健康教室など認知症に関する講座を実施 ・在宅医療・介護連携センター実施の「医療・介護の市民公開講座」の開催 ・認知症疾患医療センター主催の市民公開講座(後援) R5.11.18「認知症の“今”を学ぼう」 受講者数145人 			
	4	認知症ケアパス「認知症安心ガイドブック」の作成	認知症ケアパス(認知症安心ガイドブック)を作成・配布し、認知症の容態に合わせた適切なサービス提供の流れや相談機関を広く市民に周知・普及する。	/			<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度版認知症安心ガイドブック5,000部を作成 ・区役所、地域保健福祉センター、医療機関、公民館、図書館、希望する薬局への配布のほか、認知症関連の講演会やイベント等で配布 			

②予防と社会参加

取組方針	事業名	事業概要	指標および実施状況				実施状況 (R6.2月末)	今後の主な取組 (R6年度)	
			単位	R3	R4	R5			
<p>○運動不足の改善、糖尿病や高血圧等の生活習慣病の予防、社会参加などが認知症の発症予防や進行を遅らせることに効果があるとされていることから、認知症に限らず、全ての高齢者への予防活動を引き続き推進していきます。</p> <p>○認知症カフェや地域の茶の間など、さまざまな地域活動を通じ、認知症になっても支えられる側ではなく、支える側としての役割をもって暮らせるよう、社会参加や生きがいづくりを推進していきます。</p>	5	認知症予防出前講座	認知症予防に効果的とされる運動、脳を使ったトレーニングのほか、栄養・口腔ケアなど総合的な介護予防メニューを身近な地域で実施する。	指標 回/年	935	1,140	1,390	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス5類感染症移行後より口腔メニューの提供を再開し実施 R5.9.20、9.27運動普及推進委員向け研修会開催(受講者110人) 内容:お口の健康について 集まって楽しむ脳トレとタオルを使った体操 	<p>○引き続き、認知症予防や介護予防に役立つ生活習慣の普及啓発への取組みを進める。</p> <p>○認知症カフェを拠点にチームオレンジの整備を進めるため、認知症地域支援コーディネーターと連携しステップアップ講座開催や認知症カフェへの運営支援を行う。</p>
	6	フレイル予防事業	フレイルチェックを活用した予防事業を推進し、健康寿命の延伸を図る。	指標 圏域数	13	21	30	<ul style="list-style-type: none"> 新たに市内6圏域にフレイルチェックを実施(8区合計24圏域で実施) フレイルサポーター養成者数29人 	
	7	認知症カフェや地域の茶の間への支援	認知症カフェや地域の茶の間の運営を支援し、生きがいを持ちながら役割を果たせる環境づくりを進める。	実績 回/年	13	18	24	<ul style="list-style-type: none"> R6.2.29 市内のカフェ運営者情報交換会の開催 内容:チームオレンジの進捗 私たちのカフェで大切にしていること 地域の茶の間への助成件数 月1回開催(348件)、月2回開催(18件)、週1回(87件)、モデルハウス(7件) 	

③医療・介護連携による切れ目のない支援

取組方針	事業名	事業概要	指標および実施状況				実施状況 (R6.2月末)	今後の主な取組 (R6年度)	
			単位	R3	R4	R5			
<p>○認知症は早期発見、早期診断、早期対応が大切なことから、引き続き在宅医療・介護連携を推進するとともに、医療介護関係者等の人材育成や介護サービス基盤を整備し、支援体制を強化していきます。</p>	8	認知症初期集中支援チームの設置	認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を対象に、医療介護の専門職がその家庭を訪問し、必要な医療や介護サービスの導入や調整、家族支援などを包括的、集中的に行う。	指標 箇所	5	5	5	<ul style="list-style-type: none"> 国立長寿医療研究センター主催の研修に3名参加(オンライン開催) R5.8.9、R6.1.29市主催の研修を開催 内容:外部講師による事例検討会 R6.3.14チームの情報交換会を開催 相談件数42件、支援対象数29件(検討中除く) 	<p>○引き続き認知症初期集中支援推進事業の活性化に向けた取組みを進める。</p> <p>○市医師会認知症委員会と連携しながら認知症サポート医の体制づくりを進める。</p> <p>○かかりつけ医研修含め、歯科医師、薬剤師、看護職員、病院勤務外の看護師等医療従事者研修を新潟県と共同で実施する。</p>
	9	かかりつけ医認知症対応力向上研修	認知症の発症初期から状況に応じた支援を実施するため、高齢者が日頃より受診する診療所等の主治医(かかりつけ医)に対し、適切な認知症治療の知識・技術や本人とその家族を支える知識と方法を習得するための研修を実施する。	指標 人/年	20	20	20	<ul style="list-style-type: none"> R5.10.22オンライン開催(受講者29人のうち新規受講者7人) 内容:認知症の基本知識 認知症診断における実践 かかりつけ医の役割 地域・生活における実践 	
	10	病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修	認知症の人が安心して入院生活が過ごせ、適切な治療が受けられるよう病院勤務の医療従事者へ研修を実施する。	指標 人/年	60	60	60	<ul style="list-style-type: none"> R6.2.28オンライン開催 内容:認知症の基礎知識 認知症の人の理解と対応、多職種連携について 	
				実績 箇所	5	5	5		
				実績 人/年	128	84	71		

③医療・介護連携による切れ目のない支援

取組方針	事業名	事業概要	指標および実施状況				実施状況(R5年度)	今後の主な取組(R6年度)	
			単位	R3	R4	R5			
<p>○認知症は早期発見、早期診断、早期対応が大切なことから、引き続き在宅医療・介護連携を推進するとともに、医療介護関係者等の人材育成や介護サービス基盤を整備し、支援体制を強化していきます。</p>	認知症介護実践者研修	認知症高齢者を介護する職員に対し、認知症介護に関する専門的な知識・技術を習得する研修を実施する。	指標	人/年	100	100	100	<p>・第1回：R5.6.15～8.17実施（受講者数58人） ・第2回：R5.10.24～12.19実施（受講者数52人） 内容：認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援 QOLを高める活動と評価の観点 家族介護の理解と支援方法、権利擁護に基づく支援 地域資源の理解とケアの活用、生活支援のためのケアの演習 アセスメントとケアの実践の基本 現場実習</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症者等への救済対応として行ってきたオンライン受講は終了し、各種研修を実施する。</p> <p>○市医師会認知症委員会の協力を得ながら認知症サポート医の選出、認知症サポート医の活動の充実を図る取組みを進める。</p>
	実績	人/年	65	107	110				
	認知症介護実践リーダー研修	実践者研修で得られた知識・技術をさらに深め、施設・事業所において、ケアチームを効果的・効率的に機能させる能力を有したリーダーの養成を目的とした研修を実施する。	指標	人/年	30	30	30	<p>・R5.9.1～10.12実施 内容：認知症の専門的理解 認知症ケアに関する施策の動向と地域展開 チームケアを構築するリーダーの役割 ケアカンファレンスの技法と実践 認知症ケアにおけるチームアプローチの理論と方法 職場内教育の基本視点とOJTの実践 自施設実習</p>	
	実績	人/年	32	18	28				
	認知症対応型サービス事業管理者研修	介護保険施設等の介護従事者等で一定の要件を満たした方、または実践者研修を修了している方を対象に、認知症介護の理念・知識を習得するとともに、認知症対応型事業所を管理・運営していく上で必要な知識・技術を習得することを目的とした研修を実施する。	指標	人/年	50	50	50	<p>・R5.12.4～12.5実施 内容：地域密着型サービス基準について 介護従事者に対する労務管理について 地域密着型サービスの取り組みについて 適切なサービス提供のあり方について</p>	
	実績	人/年	43	38	39				
	認知症対応型サービス事業開設者研修	認知症対応型共同生活介護及び小規模多機能居宅介護事業所を運営する法人の代表者（開設者）を対象に、認知症対応サービス事業の運営に必要な知識を身につけることを目的とした研修を実施する。	指標	人/年	30	/	30	<p>・R6.11.20実施 内容：地域密着型サービス基準について 認知症の人の基本的理解（医学的・心理的理解） 家族の理解・高齢者との関係の理解 認知症高齢者ケアのあり方 実習オリエンテーション ※県と隔年実施</p>	
	実績	人/年	11	/	13				
	認知症介護指導者研修	高齢者介護実務者及びその指導的な立場にある者に認知症介護の質の向上に関する認知症介護実践を企画・立案し、講義、演習、実習を担当できる能力を習得するとともに、介護保険施設等において介護の質の改善について指導的役割を果たすことのできる人材を育成することを目的とした研修を実施する。	指標	人/年	2	2	2	<p>・認知症介護研究・研修東京センター主催 内容：認知症介護研修総論 認知症ケアにおける教育の理論と実践 認知症ケア対応力向上のための人材育成 地域における認知症対応力向上の推進</p>	
	実績	人/年	0	0	1				
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	介護サービス計画作成担当者を対象として、認知症介護に関する知識・技術を修得する研修を実施することで、事業所全体の質の向上を図る。	指標	人/年	30	30	30	<p>・R6.2.19～2.20実施 内容：総論・小規模多機能ケアの視点 地域生活支援 ケアマネジメント論 チームケア 居宅介護支援計画作成の実際</p>	
実績	人/年	21	16	21					
認知症介護基礎研修	介護福祉士等の資格を有しない新任の介護職員を対象として、認知症介護に携わる者が、その業務を遂行する上で基礎的な知識・技術とそれを実践する際の考え方を身につけ、チームアプローチに参画する一員として基礎的なサービス提供を行うことができるようになるための研修を実施する。	指標	人/年	100	100	100	<p>・認知症介護研究・研修仙台センター主催のeラーニングにより実施 ・認知症介護基礎研修義務化までの経過措置期間が終了となるため受講者が増加した。</p>		
実績	人/年	189	148	484					
認知症サポート医の養成	かかりつけ医、専門医療機関、地域包括支援センターなどと連携し、認知症に関わる地域医療体制構築の推進役となる「認知症サポート医」を養成する。	指標	人/年	3	3	3	<p>・国立長寿医療研究センター主催（オンライン開催） 市医師会推薦の3人含め計6人が受講（養成医師累計60人） ・R6.2.4オンライン開催により認知症サポート医フォローアップ研修を実施（修了者20人） 内容：最新の認知症治療について 症例報告 認知症診療現場における連携で認知症サポート医の果たすべき役割を問う</p>		
実績	人/年	3	5	6					

③医療・介護連携による切れ目のない支援

取組方針	事業名	事業概要	指標および実施状況				実施状況(R6.2月末)	今後の主な取組(R6年度)				
			単位	R3	R4	R5						
<p>○認知症は早期発見、早期診断、早期対応が大切なことから、引き続き在宅医療・介護連携を推進するとともに、医療介護関係者等の人材育成や介護サービス基盤を整備し、支援体制を強化していきます。</p>	12	認知症疾患医療センター運営事業 (認知症疾患対策事業)	/				<ul style="list-style-type: none"> 市内2箇所に設置 白根緑ヶ丘病院(南区)、総合リハビリテーションセンター・みどり病院(中央区) R4実績 専門医療相談3,057件、鑑別診断692件、紹介586件、逆紹介 1,117件 連携会議(懇話会)、研修会(市民公開講座、家族教室等)の実施 	<p>○認知症対策地域連携推進会は年2回開催予定</p>				
	13	認知症対策地域連携推進会議					/				<ul style="list-style-type: none"> R5.9.4開催 内容: 認知症初期集中支援推進事業報告、チームオレンジの進捗第9期地域包括ケア計画における認知症施策について R5.11.13開催 内容: 第9期地域包括ケア計画における認知症施策について R6.3.25 内容: 第9期地域包括ケア計画における認知症施策について第8期地域包括ケア計画における認知症施策の取組み 認知症推進計画策定に向けた認知症本人参加と意見聴取 	
	14	認知症地域支援推進員の配置									/	
	15	グループホーム整備事業	<p>認知症になっても、住みなれた地域で過ごすことができるよう、今後の認知症高齢者の増加の状況や各日常生活圏域の整備状況を踏まえながら、グループホームの整備を進める。 また、既存事業所の2ユニット化により、増設を図る。</p>				<p>指標 定員数 45 72 72</p>		<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型サービス指定候補事業者の公募を行い整備事業者3者(定員各18人)を決定 			
			<p>実績 定員数 36 54 54</p>									
16	小規模多機能型居宅介護(看護小規模多機能型居宅介護含む)整備事業	<p>小規模多機能型居宅介護は、「通い」を中心に利用者の生活様式や希望に応じ「訪問」、「泊まり」を組み合わせ提供されるサービスで、顔なじみの介護職員が対応する。 医療ニーズの高い方にも柔軟に対応できるように、訪問看護の機能を合わせた看護小規模多機能型居宅介護事業所とあわせて整備を行う。</p>				<p>指標 定員数 58 116 116</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型サービス指定候補事業者の公募を行い整備事業者1者(登録定員29人)を決定したが、事業者の辞退により事業中止 					
		<p>実績 定員数 29 87 0</p>										

④認知症に理解のある地域社会の実現

取組方針	事業名	事業概要	指標および実施状況				実施状況 (R6.2月末)	今後の主な取組 (R6年度)	
			単位	R3	R4	R5			
<p>○認知症の人や家族が住み慣れた地域で暮らしていくことができるよう、認知症に理解ある人や認知症サポーターとともに、身近な地域における支援体制の構築を進めていきます。</p> <p>○また、若年性認知症の人が、適切な支援を受けられるよう、若年性認知症支援コーディネーターや医療機関等と連携を図りながら支援体制の構築を検討していきます。</p>	17	徘徊高齢者家族支援サービス事業	位置情報を把握できる小型通信機器を徘徊症状のある高齢者に携帯してもらうことで、高齢者の事故を防止し、家族の負担を軽減を図る。	指標 人/年	35	44	53	・65歳以上13人、65歳未満0人	<p>○認知症カフェにおけるステップアップ講座の開催数を増やし、認知症地域支援コーディネーターと連携しながらチームオレンジの整備を進める。</p> <p>○若年性認知症支援コーディネーターと協働し若年性認知症支援に関わる関係機関とのネットワーク、支援体制の構築を進める。</p>
	実績 人/年	19	14	13					
	18	はいかいシルバーSOSネットワーク	行方不明高齢者の早期発見・早期保護とその後のケアを図るため、警察等関係機関と協力しながらネットワークの構築を進める。	/				<p>・県警が実施している認知症の人などの行方不明者情報のFAX送信を活用し、各警察署管内で協力機関と見守り体制の構築を図った。</p> <p>・行方不明者の広域支援体制については、県警の「ひかるくん・ひかりちゃん安心メール」にて行方不明者情報の配信を継続</p>	
	19	認知症カフェや家族会への支援	認知症の人と介護者が共に安心して過ごせる居場所である認知症カフェや家族会の情報を発信するなど、その活動を支援する。	/				<p>・市が把握している認知症カフェ(17か所)、認知症介護家族会(5か所)を市ホームページに掲載するほか、パネル展や講演会等でチラシ等による開催情報を発信</p> <p>・R6.2.29 市内のカフェ運営者情報交換会の開催【再掲】 内容:チームオレンジの進捗 私たちのカフェで大切にしていること</p>	
	20	認知症サポーターステップアップ講座	認知症の人や家族の支援者として活躍できるよう、意欲のある認知症サポーターを対象に講座を開催する。	指標 人/年	50	50	50	<p>・R5.9.12実施 受講者34人 内容:認知症の基礎地意識を深める チームオレンジの意義や役割について 認知症カフェの紹介</p> <p>・R6.1.27 より道カフェで実施(受講者24人) 内容:上記同様</p>	
21	認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業	認知症の人が地域で安心して暮らせるよう、認知症の人や家族のニーズを認知症サポーターにつなぐ仕組み(チームオレンジ)を構築する。	/				<p>・認知症地域支援コーディネーター1名を配置し(総合リハビリテーションセンター・みどり病院)、モデル事業を継続</p> <p>・チームオレンジの設置(1か所) 中央区しもまち地域で認知症ステップアップ講座開催(毎月1回)、認知症カフェ開催(月1回)継続、徘徊模擬訓練の実施(R5.9.30)</p>		